

平成 31 年 3 月吉日

## フェレットコロナウイルス遺伝子検査(RT-PCR) 開始のご案内

この度、山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室の前田健先生のご指導により、フェレットコロナウイルスの遺伝子検査を開始させていただくこととなりました。

フェレットコロナウイルスは粘液性の下痢症を誘引する‘フェレット流行性カタル性腸炎コロナウイルス (FRECV)’と猫伝染性腹膜炎 (FIP) 様の全身性疾患の原因となる‘フェレット全身性コロナウイルス (FRSCV)’に分けられますが、本検査では両ウイルスを区別して検出いたします。

なお、FRSCV 感染例の全てが全身性の感染症に至るわけではなく、本ウイルスの生体内変異株が発症に関係している可能性が示されています。

### フェレットコロナウイルス遺伝子検査

検査内容	検査方法	対象動物	検査材料	サンプル送付方法	所要日数
フェレット流行性カタル性腸炎コロナウイルス (FRECV)	逆転写 ポリメラーゼ 連鎖反応 (RT-PCR)	フェレット	糞便	冷蔵	4 日 以内
フェレット全身性 コロナウイルス (FRSCV)					

- \* 所要日数；受付日を 0 日とした営業日換算（土日祝は含みません）。
- \* 検査料金；消費税別、会員料金（非会員の場合、1 検体当たり 2,000 円＋税の取り扱い手数料が加算されます）。
- \* FRSCV と FRECV を区別するプライマーは最も変異の多い S 遺伝子領域をターゲットとしているため、遺伝子変異などによりまれに両ウイルスを区別できないことがあります。その場合はフェレットコロナウイルスの検出のみのご報告となります。
- \* 弊社検査依頼書が未対応であるため、犬または猫の臨床検査依頼書の備考欄に「フェレットコロナウイルス遺伝子検査希望」とご記載ください。

ご質問は下記までお問い合わせください。

**マルピー・ライフテック株式会社**

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町 103  
TEL:072-753-0335 FAX:072-754-2208  
URL:<https://www.m-lt.co.jp>